

JMIA NEXT FORMULA PROJECT



▼2024 NFP スタート

これまで多くのレーシングカーを開発してきたメンバーを中心に、JMIA 参加各社より積極的な関与で、トップカテゴリに迫るような、次世代フォーミュラコンセプトカーの製作を目指し、プロジェクトが立ち上げられました。

▼2020 FIA-FR (DOME F111/3)

FIA のF1 を頂点とするヒエラルキーの中で、F3 を FIA-F3 と FIA-FR の二段階に分け、各リージョンナル（地域）のファンメイカテゴリーとして新たに設定されたのがフォーミュラリージョンナルカテゴリーです。2020 年に日本で始まった Formula Regional Japanese Championship(FRJ) に、オリジナルシャーシ DOME F111/3 を供給。選手権は今年で 5 年目を迎え、これまで 32 台の完成車を販売しています。



▼2024 FIA-F4 Gen 2 (MCS 4-24)

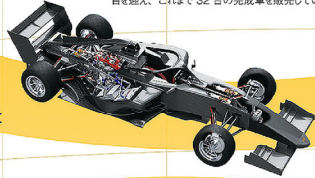
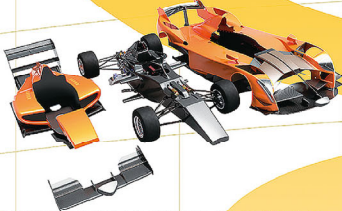
FIA よりモーターショーを受けた次世代 F4 車両 (FIA-F4 Gen2) です。従来比で約 10 倍の耐衝撃が求められるモノコック、エンジン、ギアボックス。その他 JMIA 参加企業の商品が多く採用されています。同カテゴリ「Gen1」車両で稼働した 2015~2023 年に続いて、2024 年からも SUPERR-GT レースのサブイベントとして、レースが開催されます。

▼2015 MOTHER CHASSIS (DOME M101)

最高水準の技術水準と安全性を兼ね備えた高性能シャーシの開発を目指し、これをベースにロードゴーイング・スポーツカー、または、独自のオリジナル・レーシングカーを製作出来るように企画されました。モノコック単体から、ボディ以外が半完成のローンシャシまで、購入者が自由に選べるように開発されたのが、MOTHER CHASSIS です。2014 年 8 月に、DOME F110 と共に SUPERR-GT 夏の鈴鹿大会で登場しました。同年 SUPERR-GT タイム大会にてテスト参戦。翌 2015 年には、GTA 協力の元、SUPERR-GT・GT300 クラスに参戦する JAF-GT300MC 規格車両として販売されました。海外チームを含む最大参戦 5 チームが、トヨタ・98、ロータス・エヴォール、トヨタ・マーク X など各ベースに開発されたボディを装着して GP クラスに参戦。2016 年にはつちやエンジニアリングが GT300 クラスでチャンピオンを獲得しました。2024 年現在も 1 チームが継続して参戦しています。

▼2023 DOME CONCEPT SPORTS

DOME F111/3 をベースに、よりハイパーなエンジンと、空力性能に優れた、タイヤを覆うフルカウリング、その他ギミックを仕込んで、よりハイパフォーマンスな性能を安全に楽しむことが出来るために開発されたのが、Dome Concept Sport です。現在開発継続中。



▼2015 FIA-F4 Gen.1 (DOME F110)

当時、国際自動車連盟 (以下 FIA) 規格のフォーミュラカーは海外製が存在せず、日本のレース界の危機を感じ企画され、JMIA 参加企業の協力でより世に送り出されたのが DOME F110 です。世界共通 FIA-F4 規定のジュニアフォーミュラとして、リーズナブルな価格と高い安全性を誇ります。また SUPERR-GT の鈴鹿レースにて選手権が行われることになったことも手伝い、常に 40~50 台のエントリーを集める人気カテゴリに成長しました。FIA-F4 規格を外れる 2024 年からは同車両のワンメイクレース、F110CUP がスタート。



▼2010 JAF-F4

【UOVA モノコック】を採用した車両が完成。それまでアルミモノコック製中心だった JAF-F4 カテゴリに新型車両が多く参入するきっかけとなり、同年 JAF-CUP 大会において「国土交通大臣賞」が授与されるなど、同カテゴリの興隆に一役買いました。2023 年に新名称「Formula Beat」にて再スタートした日本独自のレースカテゴリです。

- ・RD10W：東京 R&D 製の JAF-F4 で、UOVA を最初に採用した機構 (現在はイケアフォーミュラが販売)
- ・MC-090：MOONCRAFT 製の JAF-F4
- ・GF401→F108：ゲイナーと童夢が製作し、現在は ZAP SPEED が販売する JAF-F4
- ・RK-01：B-MAX が製作した JAF-F4

※【UOVA モノコック】とは：コストダウンのためにパイプフレームやアルミモノコックを使わずに入門低価格レーシングカーの安全性を向上させ、初心者安心してレースを楽しめるように、アルミモノコック相当の価格のカーボンポジット・モノコックを開発しました。一般的なハニカム構造のカーボンポジット・モノコックの特徴は、軽く強く高剛性というところですが、目的を安全性の向上とし、同等の安全性は維持したまま、少々重量と剛性を犠牲にすることにより、大幅な低価格の実現を目指し研究開発を続けて完成したのが UOVA モノコックです。



▼2008 F20

F20 は純粋に技術者の開発技術を競い合う新しいコンセプトの自動車レースを目指し、JMIA の用意する設計資料や部品類を使い、初めての人にも高い安全性能を確保しながらオリジナルの高い高性能なレーシングカーの製造を比較的容易にスタートできるように配慮した企画です。

開発からドライバーを守る頑丈なカーボンポジット・モノコックやタイヤ同士のヒートを防止するような形状により、低価格かつ高い安全性を目指して設計されています。コストダウンのネックとなっていたモノコックは、シミュレーション構築と独自に開発した特殊な製法を採用することにより大幅なコストダウンを実現しました。

DOME F20、MOONCRAFT F20、TOKYO R&D F20 の 3 台のプロトタイプが製作されました。



日本自動車レース工業会

▼2008 JMIA 発足

「自動車レースは自動車開発技術の戦いである」ことを原点に、「技術とレース産業を育成することにより日本の自動車レースの発展振興を図る」ことを目的とし、NPO 法人 日本自動車レース工業会 (JMIA) が発足。



FIA とは：国際自動車連盟 (Federation Internationale de l'Automobile) の略。世界各国の自動車団体により構成される非営利の国際機関。国際競技連盟、JAF (日本自動車連盟) の上部組織。